

平成17年度(2005年度) 事業報告(総括)

当財団の設立目的である「科学技術の振興」、「青少年の健全育成」について次の活動を行いました。この活動のためマツダ株式会社から例年通りの寄付を受け、低金利による運用収益を補うとともに、限られた資金を最大限に活用するように創意工夫をしました。

まず、科学技術振興分野では、先進性・独創性のある研究に対して助成を行いました。特に、「若手研究者」、「萌芽的研究」、「循環・省資源への寄与」に継続して注力しました。また、青少年の科学離れへの対応として、小中高校生を対象に科学にワクワクする機会を提供し「科学するところ」を養うことを目指した事業「科学ワクワクプロジェクト」は広島大学と連携して展開(2年目)しました。

次に、青少年健全育成分野では、市民活動との連携強化を図り、市民活動の活性化に寄与する実践的な研究に絞って助成を行いました。また、市民活動支援は、広島・山口両県における青少年健全育成のための地域に密着した活動に助成しました。更に、小学生に感動を与えるプロジェクト「感動塾・みちくさ」は、(財)広島市ひと・まちネットワーク等と共同で開催(8回目)しました。講演会は、宮尾登美子氏を講師としてお招きし、「義経と生きた女性たち」についてのお話をさせていただきました。1,300名にのぼる聴講者があり、好評を得ました。また、広島地区の大学5校で、「技術の新視点」、「能力開発特論」、「ボランティア活動」等をテーマに講義を行いました。

科学技術振興関係

研究助成

機械、電子・情報、材料の3分野を対象に25件3,000万円の助成を行いました。(国内/公募)

科学ワクワクプロジェクト

小中高生の科学体験の普及を目指す「科学ワクワクプロジェクト」を展開するため、「広島大学科学ワクワクプロジェクト研究センター」に600万円の助成を行いました。(特定課題)

事業助成

(公募助成)小中高の生徒を対象とした研究者による「科学体験」事業に11件110万円の助成を行いました。(中国地方/公募)

(推薦助成)「広島大学科学ワクワクプロジェクト研究センター」と民間団体が共同開発する科学体験プログラムに4件90万円の助成を行いました。(非公募)

青少年健全育成関係

研究助成

青少年健全育成に係る市民活動の活性化に役立つ実践的な研究5件に計400万円の助成をしました。(国内/公募)

市民活動支援

青少年の心豊かな成長の一助となる地域に密着した民間の非営利活動25件に計700万円の支援をしました。

(広島県・山口県/公募)

感動塾・みちくさ

無感動・無関心・無気力の三無主義に陥っている青少年に、感動・関心を呼びおこさせようとするプロジェクトです。プログラムの企画・実施・参加のそれぞれの当事者が感動を共有することを目的に、第8回目を3施設で2団体と共催しました。(公募)

講演会の開催

当財団の活動主旨を広く皆様に知っていただく活動の一つとして、宮尾登美子氏を講師に迎え実施しました。(広島地域)

大学寄附講義

県立広島大学「キャリアビジョン」、比治山大学「世界と共に生きる(ボランティア活動を通して)」、広島工業大学「技術の新視点」、安田女子短期大学「現代社会論」、広島大学大学院「能力開発特論」、計5大学で講義を行いました。(広島地域)

事業の概要を以下に記します。